

早稲田大学 人間科学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<一般入試 修士課程2年制>

【専門科目（共通問題）】

●問題冊子3ページ：設問2 問題文 下から2行目

（誤）

援助要請行動・・・

（正）

「援助要請」行動・・・

以上

2024 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験

【 専門科目・共通問題 】 問題冊子

試験開始まで次の注意事項を熟読すること。

1. 試験開始の指示があるまで問題冊子は開かないこと。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は問題の指示に従い解答用紙の所定欄に黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入すること。
【重要】問題の指示に沿った方法で解答用紙に解答を記入すること。
4. 次の解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を必ず記入すること。

「共通問題」の解答用紙(1枚)

解答用紙の所定欄に受験番号・氏名の記入がない場合は採点対象としない。

5. 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

■ 共通問題

はじめに専門科目「共通問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。試験開始から 45 分経過した時点で一度試験を中断し、「共通問題」の解答用紙を回収します。回収後「選択問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。

■ 選択問題

「共通問題」の解答用紙を回収後、「選択問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。配付の完了後に試験を再開し、残り 45 分の試験時間を設けて、全体で 90 分を確保します。

6. 各研究領域の選択問題のページ番号は、試験再開後に「専門科目・**選択問題**」問題冊子 p.1 の目次を参照すること。**出願した研究領域以外の問題を解答した場合は採点対象としない。**
7. 出願した研究領域の選択問題の中から **1 題を選択し** 解答すること。
2 題以上解答した場合は採点対象としない。
8. **【重要】選択した問題で指定されている解答方法に従って解答すること。**
9. 選択した問題の番号を、解答用紙の「選択した問題番号」欄に必ず記入すること。
「選択した問題番号」欄に記入がない場合は採点対象としない。

【記入例】A-1 の問題を選択した場合

A - 1

■ 解答用紙の回収【重要】

10. いかなる場合でも以下の解答用紙を必ず提出すること。
 - ①「共通問題」の解答用紙(1枚)…試験開始から 45 分経過した時点で回収
 - ②「選択問題」の解答用紙(1枚)…共通問題の解答用紙回収後に配付し、
専門科目すべての試験が終了した時点で回収
11. すべての試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

以上

2024 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制入学試験
【共通問題】問題冊子

目次

I. 共通問題・・・・・・・・ 2～3

選択問題の問題冊子と解答用紙は、共通問題の解答用紙回収後に配付する

2024 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科 修士課程 2 年制 入学試験問題【共通問題】

身体的回復や心理的回復について述べた設問 1 と設問 2 について答えなさい。

【設問 1】

国民の健康回復にはより手厚い医療サービスの提供が望ましい一方で、昨今の経済状況等を考慮することも不可欠である。図 1 は、平成 27 年度における年齢調整後 1 人当たり入院医療費と 10 万人当たり病床数の関係を示した散布図である(出所：財政制度分科会(平成 30 年 10 月 30 日開催)資料 2)。その資料では「一人当たり医療費は都道府県の間で大きな差が存在している。例えば入院医療費を見ると病床数との強い相関が見られるなど、医療費は医療提供体制に強い影響を受けると考えられる。各地方による医療提供体制適正化の取組が重要。」とのコメントが付記されている。

ここで、「医療提供体制適正化」が病床の削減を意味する場合、図 1 の事実だけで病床削減と結論付けるのは十分ではない。a.その理由は何か？ b.他の情報を加味して議論するとなると、どのような情報が必要となるか？ 合わせて 200 文字程度で書きなさい。

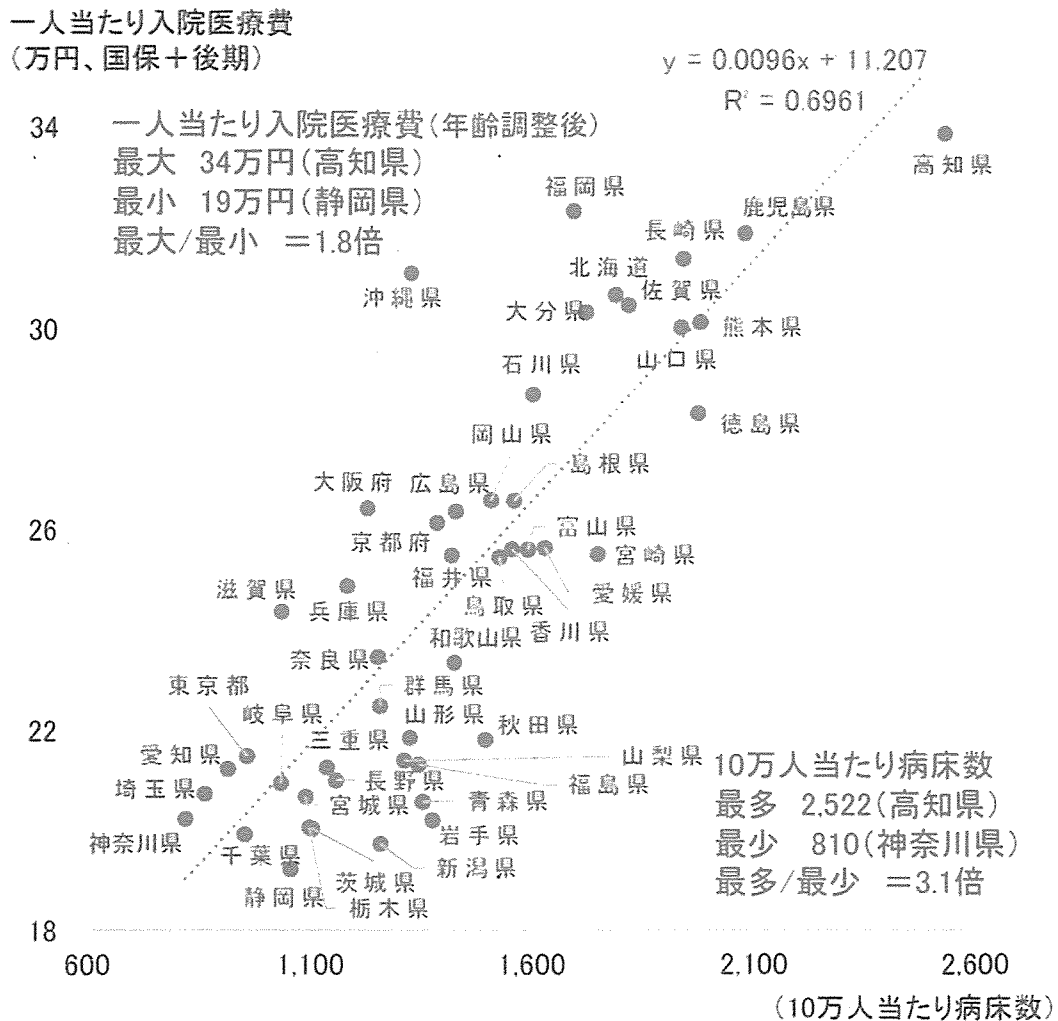


図 1：1 人当たり入院医療費（年齢調整後）と人口当たり病床数

出典：

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia301030.html

【設問 2】

自分だけでは解決できない問題に直面した際、問題を解決するために他者に援助を求める行動を援助要請と言う。援助要請ができることは、問題解決という側面でも精神的健康の回復という側面でも重要である。Juhl らは、日頃抱くどのような感情が援助要請行動と結びついているのかを検討するため、194 名を対象に、以下の調査を行った。

日頃抱く感情としては、「懐かしさ (Nostalgia)」「喜び (Joy)」「ひらめき (Inspiration)」「誇り (Pride)」「罪悪感 (Guilt)」「恥 (Shame)」「後悔 (Regret)」の 7 感情を取り上げ、それぞれについて日頃それらをどの程度抱くかについて 6 件法 (1=まったく抱かない、6=とても抱く) でたずねた。

日頃の援助要請傾向としては、「困った時に手伝ってもらう」「人にアドバイスを求める」「問題が生じた時に助けてもらう」「人に助けてもらうことに抵抗がない」という 4 つの項目について、日頃の自分をどの程度表しているかを、6 件法 (1=まったく表していない、6=とても表している) でたずねた。

表 1： 日頃抱く 7 つの感情と援助要請頻度の記述統計と相関について

	平均	標準 偏差	1	2	3	4	5	6	7
1. Nostalgia	4.15	1.24	—						
2. Joy	4.25	1.27	0.32***	—					
3. Inspiration	4.08	1.33	0.36***	0.54***	—				
4. Pride	4.02	1.42	0.32***	0.54***	0.59***	—			
5. Guilt	2.32	1.41	0.11	-0.15*	-0.14	-0.15*	—		
6. Shame	2.23	1.39	0.11	-0.17*	-0.21**	-0.16*	0.87***	—	
7. Regret	2.47	1.40	0.11	-0.29***	-0.26***	-0.24**	0.73***	0.77***	—
8. Help seeking	4.35	1.08	0.27***	0.41***	0.30***	0.32***	-0.13	-0.10	-0.16*

Note. * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$

注：1. 「懐かしさ (Nostalgia)」、2. 「喜び (Joy)」、3. 「ひらめき (Inspiration)」、4. 「誇り (Pride)」、5. 「罪悪感 (Guilt)」、6. 「恥 (Shame)」、7. 「後悔 (Regret)」、8. 「援助要請 (Help seeking)」

援助要請行動と 7 つの感情との関係について、a. 表 1 から明らかになることと、b. 表 1 が示すことの限界について、合わせて 200 文字程度で書きなさい。

出典：Juhl, J., Wildschut, T., Sedikides, C., Xiong, X., & Zhou, X. (2021). Nostalgia promotes help seeking by fostering social connectedness. *Emotion*, 21(3), 631–643. <https://doi.org/10.1037/emo000072>

※ページ下部に出典を追記しております。

【以下余白】

採点欄

受験 番号					
氏名					

【専門科目・共通問題（必須）】 解答用紙

05101520

↗
解答欄

	100
	200
	300
	400
	500

裏面を使用してもよい。

(こちらは裏面です)

